企業と人材　年間総索引

2018（平成30）年1月号（No.1059）～12月号（No.1070）

●特集索引●

1月号　No.1059

特集　**現場主体の若手技能者育成**

◆解説　現場目線でみた生産現場の人材育成のあり方
ジン・コンサルティング　代表／生産技術コンサルタント　西村　仁

◇事例①　YKK AP
協力会社とともに若手育成のため「施工技能修練伝承塾」を展開。少数精鋭で6年かけて育成

◇事例②　ダイニチ工業
徹底したQCサークル活動の継続によって社員の意識を高め、フレキシブルな生産体制を確立

◇事例③　ダイセル
プランドオペレーター全員に基本動作を振り返る研修を実施。メンテナンス技術力強化をめざし、「道場」を開設

2月号　No.1060

特集　**気づいて動く接遇を学ぶ**

◆解説　おもてなしの心を学ぶ接遇教育
ANAビジネスソリューション 営業本部 研修事業部 部長　石山由美香
営業本部 研修事業部 企画チーム 烏田智子

◇事例①　ベアーズ
お客さま感動度120%をめざし、「ベアーズフィロソフィー」で理念を共有し、“ベアーズびと”になる

◇事例②　大東建託
接遇コンテストで社員の接遇レベルを向上。お客さまに対して自分で考えて行動できる人材を育てる

◇事例③　スーパーホテル
従業員が自ら課題を設定しチェックする仕組みで、“自律型感動人間”の育成をめざす

◇事例④　JR東日本テクノハートTESSEI
ユニフォーム変更がきっかけでスタッフの意欲が向上。「エンジェルリポート」によっておもてなしの心を共有

◆特別記事　おもてなし経営をしている企業に共通するもの　River Office ジャーナリスト　瀬戸川礼子

3月号　No.1061

特集　**チームビルディングの活かし方**

◆解説　チームビルディングプログラムの活かし方　チームビルディングジャパン 代表取締役 河村　甚

◇事例①　東日本電信電話
事業の変革を牽引するマインドと発想力を引き出すために、若手向けの研修にチームビルディングを組み入れる

◇事例②　理想科学工業
チームワークやリーダーシップの大切さを学ぶクロスフィールド研修で、意識と行動に変化をもたらす

◇事例③　タスク・フォース
北海道の原野を開拓する「屯田研修」で自分の限界を超え、チームで協力して目標を達成することを経験

４月号　特集　根づかせる！ 研修の内製

No.1062

◆解説　研修内製化 成功のためのポイント　ダイナミックヒューマンキャピタル 代表取締役　中村文子

◇事例①　GE ジャパン
クロトンビルのクオリティを維持するトレーナー養成のあり方とデジタルラーニングへの挑戦

◇事例②　LIFULL
社員が自発的に講師を務める「LIFULL 大学」で、主体的に教えたい人と学びたい人がともに成長

◇事例③　さくらインターネット
社内のニーズを踏まえ、半年かけて社内講師を育成する「寺子屋プロジェクト」で教え合う組織風土を醸成

５月号　特集　経営層の視野を広げる

No.1063

◆解説①　「これから」を見据えた役員のあり方　グロービス マネジング・ディレクター　鎌田英治

◆解説②　役員の果たすべき役割と必要な知識　会社役員育成機構　代表理事　ニコラス・ベネシュ

◇事例①　資生堂
若手が役員に IT の指南をする「ICT 役員リバースメンター制度」で、役員の視野を広げ、全社の IT 活用やコミュニケーションを活性化

◇事例②　日立化成
絵を描き想いを表現するワークショップを実施し、50 年後にめざすべき姿について全社的な共有を図る

６月号　特集　五感を活かした研修の試み

No.1064

◆座談会　五感の研修が教えてくれるもの
なか道 代表取締役 青江覚峰／京都造形芸術大学 アート・コミュニケーション研究センター 副所長 岡崎大輔／森と未来 代表理事 小野なぎさ／ダイアログ・イン・ザ・ダーク 代表　志村真介

◇事例①　CHINTAI
新入社員が役員らと一緒に真っ暗な空間に入る「暗闇入社式」。終了後には距離が縮まるとともに、多くの気づきを得る

◇事例②　富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
五感を働かせる森林体験研修で自己理解を深め、さまざまな気づきを得ることで、参加者が成長する

◇事例③　パーソルホールディングス
体感と思考、内省と対話を繰り返す対話型観賞を通じて、自ら最適な答えを導き出し、他者の異なる意見を受け入れて共創する人材へ

◇事例④　PwC あらた監査法人
サステナビリティ・サービスチーム独自のイベントとして、「アイマスクをつけて食事をする」研修にトライ

７月号　特集　自己啓発支援制度を効果的に運用する

No.1065

◆解説　従業員を働きアリのタイプに区分し、タイプ別に自己啓発支援策を展開
日沖コンサルティング事務所　代表　日沖　健

◇事例①　伊藤ハム
自己啓発支援策として、主に通信教育を中心に展開。講座申込みの簡略化、積極的な告知など、受講促進に取り組む

◇事例②　サトーホールディングス
通信教育やe-ラーニングなどで、一般的なスキルや自社事業に即した学びを支援し、顧客価値を創造できる人財を育成

◇事例③　東京ガス
上司とのキャリア面談直後に自己啓発の講座申込みを開始。短時間講座や夏期講座を増やすなどして受講者増に努める

８月号　特集　北海道の企業文化と人材育成

No.1066

◆解説インタビュー　北海道の産業の特徴と企業の取り組み　地域研究工房　代表理事　小磯修二

◇事例①　北洋銀行
北海道の発展に貢献できる「専門人材」育成のため、新人教育や職位別・業務別研修の体系を大きく見直す

◇事例②　石屋製菓
新たに導入した階層別研修を中心に人材育成施策を展開。理念に沿って次代を担う人材を育成

◇事例③　AIRDO
チャレンジやコミュニケーションを重視した人財育成。“北海道ホスピタリティ”を高める自己啓発支援も実施

◇事例④　サッポロドラッグストアー
１年目からマネジメントの基礎を学び、少人数店舗に対応。２年目研修では現場の問題を持ち寄って共有する

９月号　特集　経験値を上げる新入社員教育

No.1067

◆解説　新人に対して何を教え、どこまで求めたらよいか　FeelWorks　代表取締役　前川孝雄

◇事例①　テルモ
全職種合同で行う共通研修で、互いの仕事を学び合う長期の営業実習で、「現場のわかる」技術者を育てる

◇事例②　ヴィクトリア
ゴルフや山登りを実際に体験！働く自信とサービス向上につながる体験型教育

◇事例③　ホーチキ
入社1～3年まで新入社員教育を実施し、新人同期のつながりづくりや、独り立ちするまでをサポート

◇事例④　モバイルファクトリー
新人研修の一環として、3社合同でシェア研修を実施。プレゼンバトルなどを通して、市場価値の高い人材を育成

10 月号

No.1068

本誌調査　2018 年度（第 42 回）

教育研修費用の実態調査

◆調査結果の概要
◆調査結果の集計表

●主な調査項目
教育研修費用総額と従業員１人当たりの額（2017 年度予算／実績と 2018 年度予算）／ 2017 年度総売上高に占める教育研修費用総額の割合／教育予算の対前年度の増減状況と増加率・減少率の分布／外部講師・教育機関への支払総額と教育研修費用総額に占める割合、推移／ 2018 年度の予算で実施する教育研修／とくに重点的に取り組む教育研修／本社人材開発部門および各事業部門が実施する研修プログラム数の増減／女性社員教育における出産・育児期の配慮／研修内製化への取組状況／内製化したプロセス、内製化の割合／内製化による効果と課題、取り組まない理由

●企業別実態（教育研修費用総額と従業員１人当たり額／各種研修の実施状況）

---

11 月号

No.1069

特集　# 語学教育の最前線

◆解説　求める人材像を定め、多様な学習方法から最適な学びを組み合わせる
アルク 取締役 事業運営本部長兼営業本部副本部長　小松孝吉

◇事例①　アサヒビール
「３カ月間講座を受けて試験」という PDCA サイクルを繰り返し、モチベーションを保ちながら集中して語学を学ぶ
◇事例②　ラオックス
英語・中国語・日本語の教育を教材づくりから完全内製化。販売の現場で武器となる外国語習得をめざす
◇事例③　双日
自己研鑽プログラムや海外語学研修等で社員の語学学習を支援し、語学力をアップ
◇事例④　東日本旅客鉄道
海外体験型プログラムや国内インバウンド向けの語学教育など、多様な取り組みで人材育成を推進
◆特別記事　グローバル時代における中国語資格 HSK の果たす役割
日本青少年育成協会 HSK 日本実施委員会 事務局長 本田恵三

---

12 月号

No.1070

特集　# 東北復興と企業人の学び

◆座談会　東北被災地での新しい学びの場と企業研修
あすびと福島 代表理事 半谷栄寿／ MORIUMIUS 理事 油井元太郎／ ETIC. 理事 山内幸治／モリヤコンサルティング 代表取締役 守屋智敬（兼ファシリテーター）
◇事例①　ロート製薬
震災直後に専任の復興支援室を設置し、継続的に地域の社会課題に取り組むなかで、多くの学びを得る
◇事例②　凸版印刷
福島・南相馬でのフィールドワークをとおして、社会課題の解決と自社利益とを両立できる人財を育成
◇事例③　富国生命保険
メンター（若手職員）とメンティがともに東北被災地へ。協働作業を通じて人とのつながりの大切さを学ぶ

●特別記事・インタビュー●

特別寄稿

◆日本のビジネス文化を世界に広めよう！
（Waterview Consulting Group, Inc. CEO　今泉江利子）…… 3月号
◆優秀人材の大移動時代に人材開発部門が取り組むべきこと
（ハイドリック＆ストラグルズジャパン　パートナー　渡辺紀子）…… 4月号
◆「働きがいのある会社」調査の方法と調査結果を活用した組織変革のあり方
（Great Place to Work Institute Japan 代表　岡元利奈子）…… 5月号
◆ VR を活用した企業内教育、研修の現在
（積木制作　取締役　マネージャー　赤崎信也）…… 6月号
◆ジョブローテーションの能力開発効果を高める
（SPC コンサルティング　LABO 所長　白藤　香）…… 7月号
◆神経科学からみた教育や人材育成と、その未来の姿
（DAncing Einstein 代表　青砥瑞人）…… 9月号
◆障がいをもつ社員の定着・成長のために人事担当者に知っておいてほしいこと
（『障がい者の就活ガイド』著者　紺野大輝）…… 10 月号
◆「教える」研修から「考えさせる」研修へ
（日産自動車 人事本部 日本タレントマネジメントグループ 人財開発インストラクター 内田光彦）… 11 月号
◆ダイバーシティ・マネジメントと上司の成長
（東京経済大学 コミュニケーション学部　准教授　小山健太）…… 12 月号

事　例レポート

◆**日本アイ・ビー・エム**　NPO 対象の PM ワークショップが講師役の社員の気づきを生む …… 1月号
◆**大林組**　VR 技術を活用し、技術や知識だけでなく、コミュニケーションの場もつくり出す …… 2月号
◆**川崎信用金庫**　メンター制度の導入によって、新人と先輩双方が成長し育て合う風土を醸成 …… 3月号
◆**古河電気工業**　自社版の職種ガイドブックを作成。RPG 風に社内キャリアを伝える…… 4月号
◆**日本特殊陶業**　部署ごとに女性活躍プランを立案。工場では女性だけの小集団チーム …… 5月号
◆**多摩運送**　最新技術の導入や教習の拡充など、多彩な施策で一人ひとりの安全意識を高める …… 7月号
◆**中外製薬**　シニア人財の活躍推進策を展開。60 歳社員には研修や休暇で意欲を刺激 …… 8月号
◆**三井住友海上火災保険**　人財育成のために働き方改革をスタート。創出した時間で自己成長に取り組む… 9月号
◆**宇都宮市**　半年かけて政策提言をまとめる政策形成研修で、自律行動型職員の育成を図る …… 10 月号
◆**アニコムホールディングス**　新人研修で一連の業務を理解し、“新しい価値を生み出す”人材の育成をめざす …… 11 月号
◆**日立製作所**　新事業創造の場づくりで価値創造力に優れた社会イノベーション人財を育成…… 12 月号

レポート

◆ ATD2017 Japan Summit　先端技術を活用した学習のインパクトとリーダーシップへの挑戦がテーマに …… 3月号

特別企画トピック

◆「2018 年度 新入社員のタイプ」（新社会人の採用・育成研究会）…… 5月号
◆スピンオフ対談　気づく人、通り過ぎる人
（エグゼクティブコーチ ブライアン・ニューマン／パトリック・ロードン）…… 6月号
◆人材開発担当者のための学びと成長の映画ガイド
（World Theater Project 代表理事 教来石小織）…… 12 月号

調査資料

◆「第2回 女性管理職意識調査」（日本経営協会）…… 1月号
◆「2017 年度 能力開発基本調査」（厚生労働省）…… 7月号
◆「2018 年度 新入社員『働くことの意識』調査」（日本生産性本部 / 日本経済青年協議会）…… 8月号
◆「2018 年版 労働経済白書」（厚生労働省）…… 11 月号
◆「ビジネス・コミュニケーション白書 2018」（日本経営協会）…… 12 月号

●連載●

※白抜き数字は最終回を示す

世界の人事はこうなっている

リクルートワークス研究所グローバルセンター長　村田弘美

①人事のプロはどこで養成されるか（米国）……1月号
②レマン湖のホスピタリティ教育機関（スイス）…2月号
③小中学生からのキャリア教育（米国）……3月号
④新卒採用はインターンシップが主軸（米国）……4月号
⑤欧州各国でも「働き方改革」実行中（欧州）……5月号
⑥エリートを輩出するグランゼコール（フランス）6月号
⑦IT 人材の輩出とその獲得手法（インド）……7月号
⑧人材を発掘する「ソーサー」の育成（ハンガリー）……8月号
⑨フリーランサーの能力開発機会（米国）……9月号
⑩長期休暇を活用した人材育成（欧米）……10月号
⑪新たな「人材ポートフォリオ」を考える（米国）11月号
⓬「副業」に必要なスキルとは？（日本）……12月号

三遊亭兼好の笑売上手

落語家　三遊亭兼好

⑳縁起……1月号
㉑仕事……2月号
㉒雛鍔……3月号
㉓新生活……4月号
㉔団体旅行……5月号

信頼関係を構築するかかわり方、伝え方

アドット・コミュニケーション　代表取締役　戸田久実

⑩「この人は信頼できる」と思ってもらえる聴き方……1月号
⑪若手社員が育つかかわり方……2月号
⓬男性上司が知っておきたい女性部下へのかかわり方……3月号

人材開発担当者のための経営管理ちょこっとゼミナール

中小企業基盤整備機構　東北本部中小企業大学校仙台校　校長　林　伸次

⑩現場改善　～強く安全な工場をつくる～……1月号
⑪生産管理　～製造現場の競争力を高める～……2月号
⓬マネジメント力　～仕事と人が相手だから～……3月号

じつはちがった人事の定説

HR ストラテジー　代表　松本利明

⑤自社の価値観のあり方を問い直す……1月号
⑥キャリア教育を問い直す……2月号
⑦評価制度を問い直す……3月号
⑧採用面接を問い直す……4月号
⑨育休、時短勤務を問い直す……5月号
⑩ OJT を問い直す ……6月号
⑪セクハラ防止のための指導方法を問い直す……7月号
⓬人事戦略を問い直す……8月号

学びの近未来デザイン

IP イノベーションズ

⑤ Learning Technology が技術者の学びを変える　1月号
⑥現場でどう教えるか？……2月号
⑦技術者育成の効果を測る……3月号
⑧最新の育成事例紹介（1）FLBOK……4月号
⑨変化の激しい環境を生き抜く道しるべ……5月号
⑩対談：新時代の技術者育成を語る ……6月号
⑪イノベーションを起こす個人ではなくチームを育てる……7月号
⓬新しい学びの世界への淵を渡る……8月号

気づく人、通り過ぎる人

日本ワーク・ライフバランス研究所　代表　森沢弘直

①職人型マネジメントの終焉……1月号
②職場でテレパシーが使えないわけ……2月号
③ 80 点の美徳 ……3月号
④個人評価の盲点……4月号
⑤グローバル人材という虚構……5月号
❻アライグマ狩りについて……6月号

EAP の現場から学ぶ職場改革のヒント

ピースマインド・イープ

①職場のクライシスケアと予防的教育……4月号
②ローカルの事情を理解する……5月号
③ストレスチェックと組織支援 1 ……6月号
④ストレスチェックと組織支援 2 ……7月号
⑤ストレスチェックと組織支援 3 ……8月号
⑥ EAP の効果測定　カウンセリングに関する統計……9月号
⑦遠隔介護　～ケアギバーのストレス～……10月号
⑧「働く女性の健康」―米国の最新事情を踏まえて……11月号
⑨働く女性の健康―キャリアとワーク・ライフ・バランス……12月号

今日から使える！実践アイスブレイク講座

リンケージ 代表取締役 /『アイスブレイクのいろは』代表　井上貴元

①異動時期に使えるアイスブレイク……4月号
②相談できる雰囲気をつくる……5月号
③心も身体も距離を縮める……6月号
④名前を呼び合う関係をつくる……7月号
⑤会議中の眠気をパッチリ覚ます……8月号
⑥コミュニケーションを見直す……9月号
⑦自分をさらけ出す雰囲気づくり……10月号

❽絆を深めるきっかけづくり…… 11月号

溝上憲文のケンブン録 それってどうなの?!

ジャーナリスト　溝上憲文

①親子就活……6月号
②キャリアチェンジ……7月号
③ケチな人……8月号
④ホントの壁はどこにある？……9月号
⑤学んだことを身につける最高のやり方…… 10月号
⑥それはいったい誰のため？…… 11月号
⑦ポテンシャルは見抜けず育てられない?!…… 12月号

女性営業職を守る防犯研修のススメ

編集部

①前編……9月号
❷後編…… 10月号

1 on 1 に関する上司の6つの勘違い

サーバントコーチ 代表取締役　世古詞一

①上司は部下と十分にコミュニケーションをとれていると思っている…… 10月号
②上司は忙しいから 1on1 ができないと思っている…… 11月号
③上司は 1on1 を単なる面談だと思っている …… 12月号

PLAZA

教育スタッフ PLAZA

電話応対から学ぶ 人と人とのコミュニケーション

日本電信電話ユーザ協会　技能検定部長　吉川理恵子

④敬語教育で大事なこと …… 1月号
⑤電話をかけるとき …… 2月号
⑥ロールプレイで力をつける …… 3月号
⑦クレーム電話にしない応対 …… 4月号
⑧ツールを使い分ける …… 5月号
⑨電話応対の品質チェック …… 6月号
⑩特別な電話応対は不要 …… 7月号
⑪取り次ぎと伝言の大切さ …… 8月号
⑫電話応対の未来 …… 9月号

いきいき働く職場づくり 女性社員のキャリア形成と育成

MY STORY K.K.　代表　久保田一美

①一般職女性のキャリア（1）「価値観」を理解する …… 1月号
②一般職女性のキャリア（2）主体的に変わる……2月号
③一般職女性のキャリア（3）組織視点に変わる……3月号
④子育て期のキャリア（1）自信をもって復職する……4月号
⑤子育て期のキャリア（2）モチベーションを維持する……5月号
⑥管理職としてのキャリア（1）１つ上に目を向ける……6月号
⑦管理職としてのキャリア（2）「ロールモデルがいない」を考える ……7月号
⑧管理職としてのキャリア（3）チームメンバーに伴走する……8月号
⑨管理職としてのキャリア（4）相手を信じて待つ……9月号
⑩管理職としてのキャリア（5）セルフコントロールをする…… 10月号
⑪世代ごとのキャリア（1）自分に投資する…… 11月号
⑫世代ごとのキャリア（2）未来を描いて行動変容する…… 12月号

ゼロからはじめる板書講座

Be-Nature School　ファシリテーション講座　講師　大枝奈美

①「板書」のススメ……1月号
②見えるように書くために……2月号
③発言を書いていこう……3月号
④まとめる書き方の使い道……4月号
⑤打ち合わせメモを書こう……5月号
❻話し合いをよりよくする……6月号

TRAIN THE TRAINER Mini Guide

人財ラボ　代表取締役社長　下山博志

①社内で講師を育てる計画をする……4月号
②社内講師を発掘する……5月号
③社内講師を育成する……6月号
④社内講師を評価する……7月号
⑤社内講師のチームづくり……8月号
❻社内講師の質を高める……9月号

ちょうどいいコンプライアンス教育

アサミ経営法律事務所　弁護士　浅見隆行

①ネタの作り方①　旬のもの編……9月号
②ネタの作り方②　定番もの編…… 10月号

③対象別の教育方法論①　役員／管理職編…… 11月号
④対象別の教育方法論②　一般社員編…… 12月号

教育コンサルタントの自画像

⑭⑤「VR 研修」を通じて社員教育の未来像を考える（エドガ CEO　米本大河）…… 1月号
⑭⑥「承認する」ことで部下もチームも育てる（リフレッシュコミュニケーションズ 代表 吉田幸弘）…… 2月号
⑭⑦組織の力は個人の成長と協力がカギ（ミィロークコンサルティング 代表取締役 大野祥江）…… 3月号
⑭⑧キャリア開発を通じて組織活性化を支援（日本マンパワーソリューション 企画部企画開発1課 小出真由美）… 4月号
⑭⑨共感力と論理力に根ざした対話技術を（高杉尚孝事務所 代表 高杉尚孝）…… 5月号
⑮⓪タイミング マネジメントで主体性を引き出す（プライムタイム 代表取締役 坂本敦子）…… 6月号
⑮①非言語コミュニケーションの改善で人生を快適に（身体表現コンサルタント 荒木シゲル）…… 7月号
⑮②焚き火を活用し、個人を尊重した場をつくる（日本焚き火コミュニケーション協会 代表理事 三宅哲之）…… 8月号
⑮③コンプライアンスを人と職場の視点から見える化（日本コンプライアンス推進協会 専務理事 塚脇吉典）…… 9月号
⑮④病院･施設内に養成校設置。介護職のやりがい得られる（ガネット 代表取締役 藤田達也）…… 10月号
⑮⑤個人の可能性を広げ、活かす組織を育てる（人事コンサルタント　石山真知子）…… 11月号
⑮⑥変化の時代を導く教育施策とは（チェンジ 執行役員 石原徹哉）…… 12月号

教育スタッフの「仕事」日誌　SEASON11

日産自動車　人事本部　人財開発グループ　人財開発インストラクター　内田光彦

⑩ I'm not a Human Resource …… 1月号
⑪講師冥利に尽きるけれど…… 2月号
⓬自動車に乗り換える…… 3月号

教育スタッフの「仕事」日誌　SEASON 12

日立総合経営研修所 ラーニングセンタ 部長代理　油川裕志

①新人研修の醍醐味…… 4月号
②桜の季節です…… 5月号
③イノベーションを起こす…… 6月号
④最も良い研修とは…… 7月号
⑤成果で評価する働き方へ…… 8月号
⑥地方創生を考える…… 9月号
⑦グローバル意識をもつ…… 10月号
⑧社内講師への期待…… 11月号
⑨研修会社とのおつきあい…… 12月号

BOOK

元・人材開発室長の若い担当者に読ませたい本

能美防災　人材開発室　佐藤栄時

①『メンタリング・マネジメント』（福島正伸著　ダイヤモンド社）…… 1月号
②『パーフェクトプレゼンテーション』（八幡紕芦史著　アクセス・ビジネス・コンサルティング）…… 2月号
③『イノベーターズ』（吉村慎吾著　ダイヤモンド社）…… 3月号
④『海賊とよばれた男』（百田尚樹著　講談社文庫）…… 4月号
⑤『日本でいちばん大切にしたい会社』（坂本光司著　あさ出版）…… 5月号
⑥『未来を拓く君たちへ』（田坂広志著　PHP 文庫）…… 6月号
⑦『［新版］なぜ働くのか』（PHP 研究所編　PHP 研究所）…… 7月号
⑧『NO LIMIT』（栗城史多著　サンクチュアリ出版）…… 8月号
⑨『そして、奇跡は起こった！』（J. アームストロング著　評論社）…… 9月号
⑩『古事記・日本書紀のすべてがわかる本』（多田元監修　ナツメ社）…… 10月号
⑪『昭和の怪物　七つの謎』（保坂正康著　講談社現代新書）…… 11月号
⓬『終わった人』（内館牧子著　講談社文庫）…… 12月号